



2026年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4180 URL https://www.appier.com/
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 游 直翰
 問合せ先責任者(役職名) Senior Vice President of Finance (氏名) 橋 浩二 (TEL) 03(6435)6617
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)
 (百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期 第1四半期	12,102	29.4	1,333	40.6	185	153.4	91	46.8	69	97.1	69	97.1	751	—
2025年12月期 第1四半期	9,352	26.8	948	28.8	73	12.3	62	△22.5	35	△38.6	35	△38.6	△1,561	—

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	0.68	0.67
2025年12月期第1四半期	0.34	0.34

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	61,294	37,706	37,706	61.5
2025年12月期	60,497	37,149	37,149	61.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	2.25	2.25
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	2.30	2.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,013	23.5	9,403	37.2	4,313	44.9	3,663	37.0	3,463	35.4	3,463	35.4	33.95

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年12月期1Q	102,724,983株	2025年12月期	102,589,177株
2026年12月期1Q	653,623株	2025年12月期	653,623株
2026年12月期1Q	101,945,925株	2025年12月期1Q	101,658,141株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(売上収益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループのミッションは「自律型AIでROIを向上させる」です。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は12,102百万円（前年同期比29.4%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2026年3月におけるARR（注1）は49,234百万円となり、2025年3月の36,823百万円から33.7%拡大しました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益は6,527百万円（前年同期比35.8%増）となり、売上総利益率は53.9%（前年同期比2.5ポイント上昇）となりました。売上総利益率の改善は、継続的な技術革新への取り組みと、高利益率プロダクトの構成比拡大によるものであります。

事業規模の拡大、2025年3月に開始した子会社の新規連結および為替の影響により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加し、対売上収益比率は前年同期の51.3%から53.3%へと2.0ポイント上昇しました。子会社の新規連結および為替の影響を除いた場合、既存事業における営業費用の対売上収益比率は、前年同期の50.3%から49.4%へと0.9ポイント低下しており、規律あるコスト管理とAIを活用した生産性向上によりオペレーティング・レバレッジが改善しました。

その結果、EBITDA（注3）は1,333百万円（前年同期比385百万円増）、営業利益は185百万円（同112百万円増）となりました。また、税引前四半期利益は91百万円（同29百万円増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は69百万円（同34百万円増）となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益（注2）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2026年3月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2025年10月から2026年3月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2025年3月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3カ月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は61,294百万円であり、前連結会計年度末に比べて797百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて45百万円増加しており、主な増加要因は売上収益の増加に伴う営業債権及び契約資産の増加（前連結会計年度末比2,052百万円増）であり、主な減少要因は定期預金の払戻による減少（同2,489百万円減）であります。

非流動資産は前連結会計年度末に比べて752百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上による、のれん及び無形資産の増加（同959百万円増）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は23,588百万円であり、前連結会計年度末に比べて240百万円増加しました。流動負債は693百万円増加し、非流動負債は453百万円減少しました。

主な増加要因は金融機関からの借入による借入金の増加（流動負債が850百万円増、非流動負債が621百万円増）であり、主な減少要因はM&Aに伴う条件付取得対価に係る債務の支払による、その他の債務の減少（流動負債と非流動負債の合計で760百万円減）であります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は37,706百万円であり、前連結会計年度末に比べて557百万円増加しました。主な増加要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の増加（前連結会計年度末比682百万円増）であり、主な減少要因は配当による資本剰余金の減少（同225百万円減）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、11,894百万円（前連結会計年度末比160百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,380百万円となり、前年同期比で支出が216百万円増加しました。主な支出の増加要因は運転資本の増加（前年同期比442百万円増）であり、主な収入の増加要因は非資金損益調整後の税引前四半期利益の増加（同303百万円増）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は436百万円となり、前年同期比で支出が1,237百万円減少しました。主な支出の減少要因は、子会社の取得による支出の減少（前年同期比1,986百万円減）およびその他の金融資産の取得による支出の減少（同779百万円減）であり、主な収入の減少要因は定期預金の払戻による収入の減少（同1,167百万円減）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,048百万円となり、前年同期比で収入が569百万円減少しました。主な収入の減少要因は長期借入れによる収入（純額）の減少（前年同期比1,175百万円減）であり、主な収入の増加要因は短期借入れによる収入（純額）の増加（同650百万円増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表した内容から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,734	11,894
定期預金	2,569	80
営業債権	10,596	12,847
契約資産	4,773	4,574
その他の債権	181	190
その他の流動資産	658	812
その他の金融資産	6,051	6,210
流動資産合計	36,562	36,607
非流動資産		
有形固定資産	138	124
使用権資産	1,492	1,299
のれん及び無形資産	20,539	21,498
繰延税金資産	1,085	1,098
その他の金融資産	521	539
その他の非流動資産	160	129
非流動資産合計	23,935	24,687
資産合計	60,497	61,294

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	3,787	4,637
契約負債	517	533
営業債務	5,336	5,077
その他の債務	4,939	5,175
未払法人所得税	65	56
リース負債	707	576
その他の流動負債	143	133
流動負債合計	15,494	16,187
非流動負債		
借入金	5,754	6,375
引当金	70	70
繰延税金負債	171	165
リース負債	863	791
その他の債務(非流動)	996	—
非流動負債合計	7,854	7,401
負債合計	23,348	23,588
資本		
資本金	7,688	7,719
資本剰余金	23,954	23,729
自己株式	△1,000	△1,000
利益剰余金	△2,986	△2,917
その他の資本の構成要素	9,493	10,175
親会社の所有者に帰属する持分	37,149	37,706
資本合計	37,149	37,706
負債及び資本合計	60,497	61,294

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	9,352	12,102
売上原価	△4,547	△5,575
売上総利益	4,805	6,527
販売及びマーケティング費用	△2,855	△4,061
研究開発費	△1,233	△1,686
一般管理費	△705	△703
その他の収益	66	114
その他の費用	△5	△6
営業利益	73	185
金融収益	45	32
金融費用	△56	△126
税引前四半期利益	62	91
法人所得税費用	△27	△22
四半期利益	35	69
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35	69
基本的1株当たり四半期利益(円)	0.34	0.68
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	0.34	0.67

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期利益	35	69
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	△10	△3
純損益に振り替えられることのない項 目合計	△10	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△1,586	685
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,586	685
その他の包括利益合計	△1,596	682
四半期包括利益	△1,561	751
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,561	751

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2025年1月1日残高	7,628	24,069	△1,000	△5,544	9,306	△144	9,162	34,315
四半期利益	—	—	—	35	—	—	—	35
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,586	△10	△1,596	△1,596
四半期包括利益	—	—	—	35	△1,586	△10	△1,596	△1,561
親会社の所有者に対 する配当金	—	△203	—	—	—	—	—	△203
株式報酬取引	—	41	—	—	—	—	—	41
新株予約権の行使	13	13	—	—	—	—	—	26
所有者との取引額等 合計	13	△149	—	—	—	—	—	△136
2025年3月31日残高	7,641	23,920	△1,000	△5,509	7,720	△154	7,566	32,618

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2026年1月1日残高	7,688	23,954	△1,000	△2,986	9,643	△150	9,493	37,149
四半期利益	—	—	—	69	—	—	—	69
その他の包括利益	—	—	—	—	685	△3	682	682
四半期包括利益	—	—	—	69	685	△3	682	751
親会社の所有者に対 する配当金	—	△229	—	—	—	—	—	△229
株式報酬取引	—	35	—	—	—	—	—	35
新株予約権の行使	31	△31	—	—	—	—	—	0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	△0
所有者との取引額等 合計	31	△225	△0	—	—	—	—	△194
2026年3月31日残高	7,719	23,729	△1,000	△2,917	10,328	△153	10,175	37,706

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	62	91
減価償却費及び無形資産償却費	876	1,148
受取利息	△45	△32
支払利息	35	87
予想信用損失(△は戻入)	14	11
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△64	△73
条件付対価取崩益	—	△18
株式報酬費用	67	35
その他	—	△1
運転資本の増減		
営業債権	△1,518	△2,082
契約資産	△130	273
その他の債権	10	△40
その他の流動資産	△56	△130
その他の非流動資産	△19	15
契約負債	△22	17
営業債務	△165	△341
その他の債務	△271	△317
その他の流動負債	△35	△9
小計	△1,261	△1,366
利息の受取額	130	67
利息の支払額	△21	△43
法人所得税の支払額	△12	△38
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,164	△1,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4	△8
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形資産の取得による支出	△1,130	△1,515
子会社の取得による支出	△2,520	△534
その他の金融資産の取得による支出	△779	—
定期預金の払戻による収入	3,662	2,495
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△5
敷金及び保証金の回収による収入	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△801	436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700	1,900
短期借入金返済による支出	△500	△1,050
長期借入れによる収入	1,800	1,000
長期借入金返済による支出	△4	△379
リース負債の返済による支出	△178	△194
株式の発行による収入	0	0
配当金の支払額	△201	△229
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,617	1,048
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△158	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△506	160
現金及び現金同等物の期首残高	5,496	11,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,990	11,894

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(売上収益)

顧客との契約から認識した収益の分解

当社グループは、事業を展開する上で販売状況を地域ごとに管理し、売上収益を管理区分単位である地域別に分解しております。

(第1四半期連結累計期間)

管理ユニット	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
	百万円	百万円
北東アジア地域	6,587	8,439
米国、EMEA及びその他	1,618	2,404
グレーターチャイナ地域	1,077	977
東南アジア地域	70	282
	9,352	12,102

地域は以下のように分類しております。

北東アジア地域：日本及び韓国

米国、EMEA及びその他：米国、EMEA（英国、フランス、その他を含む）

グレーターチャイナ地域：中国、台湾及び香港

東南アジア地域：その他のアジア太平洋地域（シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、インド、インドネシア及びオーストラリア）

(重要な後発事象)

該当事項はありません。